

令和4年1月28日開会

# 予算審査特別委員会会議録

鳥取県西部広域行政管理組合議会



# 予算審査特別委員会会議録

~~~~~

## 日 程

日 時 令和4年1月28日（金）  
組合議会臨時会休憩中  
場 所 米子市淀江支所議場

1 開 会

2 審査事項  
議案第1号

令和3年度鳥取県西部広域行政管理組合一般会計補正予算  
（補正第3回）

3 閉 会

~~~~~

## 出席者（16名）

委員長	中田 利幸	副委員長	景山 浩
委員	今城 雅子	委員	国頭 靖
委員	石橋 佳枝	委員	戸田 隆次
委員	三鴨 秀文	委員	岩崎 康朗
委員	森岡 俊夫	委員	足田 法行
委員	山路 有	委員	米本 隆記
委員	勝部 俊徳	委員	山本 芳昭
委員	小谷 博徳	委員	三好 晋也

~~~~~

## 欠席者（0名）

~~~~~

### 説明のため出席した者

副管理者 米子市副市長	伊澤 勇人	事務局長	三上 洋
消防局長	藤山 史郎	消防局次長兼総務課長	赤川 紀夫
事務局総務課長	生田 公志	事務局ごみ処理施設整備課長	安野 武男
消防局予防課長	宇津宮 進	消防局警防課長	多田 儒司
消防局指令課長	細田 恵誠	事務局総務課長補佐	堀口 晴美
事務局施設管理課環境企画室長	林原 昭夫	事務局施設管理課施設長 (米子浄化場)	高橋 康之
事務局施設管理課施設長 (リサイクルプラザ)	小林 祥弘	事務局ごみ処理施設整備課長補佐	伏野 哲彦
消防局総務課長補佐	清水 賢一	事務局総務課企画厚生担当課長補佐	石飛 真由美
事務局総務課入札財政担当課長補佐	三原 剛	事務局施設管理課担当課長補佐	安田 憲
消防局総務課担当課長補佐	高田 一広		

~~~~~

### 議会担当職員

|     |       |    |      |
|-----|-------|----|------|
| 書記長 | 針田 智子 | 書記 | 近藤 隆 |
|-----|-------|----|------|

~~~~~

### 1 開 会

(午後2時53分 開会)

○中田委員長 ただ今より、予算審査特別委員会を開会いたします。

~~~~~

### 2 審 査 事 項

○中田委員長 早速ですが、日程2、審査事項に入りたいと思います。先ほど、本会議から付託されました議案1件について、審査いたします。では、議案第1号、令和3年度鳥取県西部広域行政管理組合一般会計補正予算、補正第3回を議題といたします。提案理由の説明を求めます。

○三上事務局長 委員長。

○中田委員長 三上事務局長。

○三上事務局長 令和3年度一般会計補正予算、補正第3回について御説明いたします。説明資料は、概要と書きました、1ページから9ページまでの資料を使って説明させていただきます。よろしくお願いたします。第3回の補正額でございますけれども、4,116万円の減額でございます。補正後の額は、47億5,557万4千円でございます。市町村負担金の補正額は、1億349万4千円の減額で、補正後の額は42億1,216万円でございます。主な補正内容でございますが、これは、この2、3年、近年と同じような内容でございますけれども、歳入につきましては、財政調整基金からの財源充当によります繰入金増額、これが900万円弱です。前年度決算剰余金の確定に伴います繰越金増額、これが6,700万円余りでございます。それから、リサイクルプラザにおきます再生用有価物の売払収入増額などによります雑入増額、これが920万円余りでございます。これは、鉄類、アルミ類の売払単価の上昇によるものでございます。一方、減額になりましたものが、消防車両の契約額確定に伴います消防債の減額でございます。2,150万円の減額ということでございます。歳出でございます。一般管理費におきまして、財政調整基金積立金などの増額、これが3,400万円余り。不燃物処理費、米子浄化場処理費でございますけれども、各施設におきます事業費の実績見込減によります需用費、委託料、工事請負費の減額、これが5,600万円余りの減額ということでございます。それから常備消防費、消防施設費でございますけれども、こちらにつきましては、職員人件費、それから備品購入費の減額ということで3,100万円余りの減額ということになっております。その下の市町村別の市町村負担金でございます。先ほど申しあげましたように、トータルでは、1億円余りの減額ということでございますけれども、個々の市町村を見ていただきますと、日吉津村、それから日南町、日野町、江府町、この4町村が増額となっております。その要因につきましては、すみません、ページが飛びますけれども、8ページをご覧くださいませでしょうか。この1月補正におきましては、負担割合の算定にかかります基礎数値の確定に伴います算定換え、これも補正として対応させていただいておきまして、今回につきましては、書いておりますように、人口と米子浄化場処理実績、それから消防費の基準財政需要額、ここの算定換えを行っておりますが、このうちの人口、これが令和2年の国勢調査、この確定値が出てまいっておりますので、これに基づきまして算定換えを行っておりますが、日吉津村におきましては、右側でございます、当初比と比べまして、人口が62人増加したことに伴いまして、割合の方が増加したこと、これが一つの要因になっております。それからもう一つの要因といたしましては、一番下でございます。消防費の基準財政需要額でございます。これが、こちらも当初比を見ていただきたいと思いますけれども、需要額の方が、境港市

を除いて増額という形にはなっておりますけれども、この増額の割合がですね、右に書いてございますけれども、日吉津村、それから日野郡3町におきましては、割合の上昇幅が大きかったということによりまして、プラスになったというものでございます。市町村別の負担金割合の金額につきましては、別紙でお配りをしております、議案第1号の参考資料、1枚ものの横版でございます。こちらの方に市町村別、そして費目別に整理をさせていただいておりますけれども、こちらが一番右側の消防費、こちらの方がそれに基づいて変わってきた金額ということで御確認をいただけたらというふうに思います。恐れ入ります。資料の方は、元の資料に戻っていただきまして、3ページをご覧くださいませでしょうか。歳入の主な増減の要因でございます。1款の分担金及び負担金の市町村負担金でございますけれども、冒頭に御説明申しあげましたが、この要因といたしましては、前年度の決算剰余金の確定に伴います繰越金、それから財政調整基金の財源充当及び事業費の実績見込みの減によりましてでございます。次に、6款の繰入金でございます。財政調整基金繰入金、これが900万円弱でございますけれども、これは今年度の第1回の補正予算で、内容は旧白浜浄化場の不動産調査費と、書いております起債の繰上償還、ここの部分のものでございますけれども、このうちの起債の繰上償還に係ります経費、これを財源に充当するために繰入金の増額をはかったものでございます。続きまして、5ページをお開きいただけますでしょうか。歳出の主な増減の要因でございます。まず、2款総務費の一般管理費の積立金でございます。こちらが、3,300万円余りの増ということでございますけれども、これは前年度繰越金の2分の1相当額の積立金の増額というものでございます。それから一つ飛びまして、施設管理費の委託料でございます。これが340万円余りの減額ということになっておりますけれども、これは当初予算で、うなばら荘の土地の測量業務の委託料を組んでおりましたけれども、これは、土地につきましては、民間譲渡ではなくて日吉津村さんの方にお返しをするということになりましたので、この委託料が不要となったことによる減額ということでございます。飛びまして、4款の衛生費でございます。不燃物処理費の職員人件費でございます。2,000万円余りの減額となっておりますが、これは人事異動に伴います定年退職手当、これを減じたものでございまして、これが、同じ衛生費のごみ処理施設建設費、こちらの方の職員人件費に振替をしたものということでございます。恐れ入ります。不燃物処理費に戻っていただきまして、委託料と工事請負費、これがそれぞれ、1,100万円、1,700万円の減額となっておりますけれども、委託料につきましては、契約額の確定による減額でございますし、工事請負費は、契約額の確定による減額というものでございます。ページをおはぐりいただきまして、6ページでございます。5款消防費でございます。常備消防費の職員人件費でございますが、こちらは中途退職者、再任用辞退、それから育休の実績によりまして給料等の減額ということで発生したものでござい

ます。その下の消防施設費の備品購入費、こちらが2, 190万円余りの減額でございますけれども、内容といたしましては、車両購入費及び機械器具費の契約額確定によります減額というものでございます。7ページの性質別の要因につきましては、割愛をさせていただきたいと思っております。最後に9ページをご覧くださいませでしょうか。この度の補正で、財政調整基金、四角で囲っておりますけれども、第3回の補正予算ということで、②、③ということで書いております。財政調整基金につきましては、市町村別に金額を管理させていただいております。右側の積立後の残高予定というものが、補正後の財政調整額の市町村別の金額になりますので、御確認をお願いできたらというふうに思います。説明は以上でございます。よろしくお願いたします。

○**中田委員長** 当局からの説明は終わりました。委員の皆様から質疑等があれば、お願いたします。ございませんか。

○**勝部委員** 委員長。

○**中田委員長** 勝部委員。

○**勝部委員** えっとですね、予算書のページ、説明書の9ページになりますけどよろしいでしょうか。款でいうと諸収入ですけど、9ページの諸収入の中の説明ですけど、新型コロナウイルス感染症患者移送協力金ですけど、これは県の方からもらうお金なんですか。もともとコロナ患者の移送費は県の保健所の業務だと思うんで、組合の業務ではないと思うんですけど、それについては協定書などをきちんと交わされているのか、あるいはどういう形でこれが入ってくるのか、その辺のすみわけがどうなっているのかお伺いしたいと思います。

○**赤川消防局次長兼総務課長** 委員長。

○**中田委員長** 赤川消防局次長。

○**赤川消防局次長兼総務課長** 新型コロナウイルスの搬送に関する経費でございますが、先ほどの常任委員会の中で、新型コロナウイルス、48件の搬送協力をしたとありましたが、あのうちの半数は、緊急走行しない保健所からの移送協力の伴うものでございまして、これにつきましては、搬送手当、燃料代、その他覚書、協定ですか、交わしておりますので、それに基づいて請求をしているところでございます。

○**勝部委員** 委員長。

○**中田委員長** 勝部委員。

○**勝部委員** 覚書の日付はいつ頃ですか。

○**中田委員長** 多田消防局警防課長。

○**多田消防局警防課長** この覚書に関しましては、今回のコロナウイルスに関した覚書ではございません。エボラ出血熱の患者移送に係る協定書でございまして、日にちの方は今持ち合わせておりません。申し訳ありません。

○**中田委員長** 勝部委員。

○**勝部委員** その覚書なるものは感染症対策によるものに使えるものというふう  
に理解してもいいでしょうか。

○**赤川消防局次長兼総務課長** はい。

○**中田委員長** 赤川消防局次長。

○**赤川消防局次長兼総務課長** 現有の覚書はございませんので、国の方からエボ  
ラ出血熱に関する覚書を準用して業務を行いなさいという中で行っているところ  
でございます。

○**勝部委員** 委員長。

○**中田委員長** 勝部委員。

○**勝部委員** その認識はちょっと古いんじゃないかと思うんですけど、消防庁の  
方から、大体この件については、このコロナ感染症対策について通達とかが出て  
いるはずなんですけど、改めてコロナ対策のものを盛り込んだようなものは、あ  
る程度やっぱり新しく内容を見直すべきではないかと思えますけど、その点につ  
いてどのようなお考えをお持ちでしょうか。

○**中田委員長** 多田消防局警防課長。

○**多田消防局警防課長** 消防庁の方からはですね、救急業務、いわゆる消防隊員  
等は、コロナウイルス患者の移送にかかわる場合の手当等の整備については、通  
達が来ておりますが、感染症法関係は消防業務の範囲ではありませんので、保健  
所管轄の、現在はエボラ出血熱の協定を交わしたもののの中で移送業務に協力をさ  
せていただいているところであります。

○**中田委員長** 勝部委員。

○**勝部委員** それで適応しているということで、一応協定なるものの覚書がある  
というふうな理解でよろしいでしょうか。はい、了解しました。

○**中田委員長** ほかにございませんか。ほかにないようですので、質疑を終結い  
たします。これより討論に入ります。ございますか。

〔「なし」と声あり〕

○**中田委員長** 別のないものと認め、討論を終結いたします。それでは、これよ  
り本件について採決いたします。議案第1号、令和3年度鳥取県西部広域行政管  
理組合一般会計補正予算、補正第3回については、原案のとおり可決することに  
御異議ございませんか。

〔「異議なし」と声あり〕

○**中田委員長** 御異議なしと認めます。よって本件は、全会一致で、原案のと  
おり可決すべきものと決しました。以上で、当委員会に付託されました議案の審査  
は全て議了いたしました。



~~~~~

**3 閉 会**

○中田委員長 これをもちまして、予算審査特別委員会を閉会いたします。

(午後 3 時 0 8 分 閉会)



鳥取県西部広域行政管理組合議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

予算審査特別委員会委員長      中   田   利   幸